ROOTインストール

Keita Mizukoshi (YMAP, JAXA) Mail: mizukoshi.keita@jaxa.jp

- 本資料の著作権,文責は著者に帰属し,所属機関を代表したり,機関の意見を表明するものではありません。
- 学校、研究機関の教育、研究目的であれば自由に使用することができます。報告なく改変、再配布可能です。
- ただし使用者は誤りや誤字を報告する義務があります。

ROOT Install ガイド

- ROOT インストールの流れ
 - ROOTが依存しているソフトウェアをインストール
 - ROOTのソースコード をダウンロード
 - ROOTをコンパイル
 - ROOTにパスを通す
- サボる方法として,ROOTの入っているvirtual machineを使う方法があります.
 - Geant4 VM https://wiki.kek.jp/display/geant4/Geant4+Virtual+Machine
 - 放射線シミュレーションツールキットGeant4のvirtual machineですが、 ROOTもはいっています
- ROOTのインストールは初心者には難しい作業
 - あきらめずにがんばってみましょう

ROOTインストールのゴール

- 右の表示ができれば準備OK
- ターミナル※で
 - >rootとすると右の表示が確認
 - root [0]と表示されると,
 - .q
 - と押すことで終了できる.
- 注:先頭の>は自分で入力せずに初め からターミナルに表示されている
 - あなたの環境によっては違う文字 かもしれない
 - コマンドを打った後にエンター キーを押すことで実行される

*ターミナル

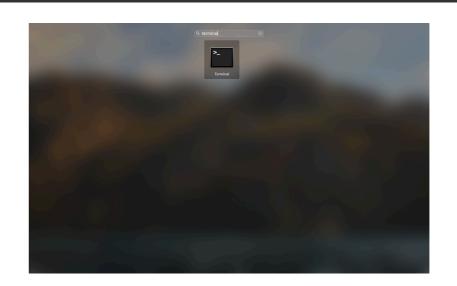
Macだとターミナル.appやterminal.app WindowsだとWindows terminal とか. WSL2を入れたらいい感じで使える なんか文字しか打てない謎の画面が 出てくるやつ

Step-by-step インストール

- ROOTのインストールをStep-by-stepで解説する.
- Macの環境で説明するが, Windows (WSL2)やLinuxでも 共通する部分は多い.
 - 1) ROOTを入れるのに必要なものを入れるものを入れる
 - 2) ROOTを入れるのに必要なものを入れる
 - 3) ROOTをダウンロード
 - 4) ROOTをインストール
 - 5) ROOTのインストールを確認
 - 6) ROOTのPATHを通す

ROOT Install その1 (Mac)

- Terminal.appを起動します
- 'termianl'や'ターミナル'で検索
- 文字を打ち込める画面が出てきたら、 まずいろいろなソフトウェアをいれるためのマネージャーhomebrewを インストールします
 - 必要なツールを一つ一つ調べて自 力でインストールするのは面倒な ので※
 - 下のコマンドをターミナルに貼り 付けて実行してください
 - その後,説明に従ってインストール してください。



*ソフトウェアAのインストールにBとCが必要になって,(依存関係という), BとCはそれぞれD,EとF,Gを必要として…という面倒を避けるため パッケージマネージャをつかえばAというだけで必要な全てを インストールしてくれる (apt, yum, pacman なんかの仲間)



多少見た目は違ってもOK

ROOT Install その2 (Mac)

- 緑色で参加者が打ち込むコマンドを示す
- システムアップデートをする
- XCodeを念のためインストール
 - App Storeからインストール
 - その後,ターミナルでXCodeコマンド ラインツールをインストール
- Homebrewで必要なものを入れる
 - cmake (ccmake) コンパイル補助
 - XQuartz 描画ツール(必須)
 - または,https://www.xquartz.org からダウンロードして導入

```
ターミナルで作業
>sudo xcode-select --install
色々言われるので指示に従う
>brew install gcc
...(略)
>brew install cmake
>brew install --cask xquartz
※サボる方法 (余裕があれば非推奨)
>brew install root
これでインストールできてしまう
```

ROOT Install その3 (Mac)

- ROOTのソースコードをダウンロード
 - インストール公式 : https://root.cern/install/
 - 作業ディレクトリ(ここではroot_build)を作る
 - gitで最新版をダウンロード

```
ターミナルで作業
>cd
>mkdir root_build
>cd root_build
>pwd
/あなたの環境のなにか/root_build
>git clone --branch latest-stable --depth=1 https://github.com/root-project/
root.git root src
```ダウンロード待ち… ```
```

## ROOT Install その4 (Mac)

- rootのソースコード がはいっているディレクトリ (root\_srcなど)がつくられているはず
- cmakeでコンパイル用の設定をする
  - >cmake -B build -S root\_src のあとに インストール場所を指定する
  - DCMAKE\_INSTALL\_PREFIX=~/local/root/ 6.26.10 (=前後にスペースがないことに注意)
  - ここでは~/local/root/6.26.10にインストール
- cmake --build build -j4 コマンドでコンパイル
  - PC性能に応じて待つ
- cmake --install buildコマンドで完成物を配置する
- cmakeはROOTに限らず一般にUnixシステムに ソフトウェアをインストールするツール

```
ターミナルで作業
>1s
root src
>cmake -B build -S root src
-DCMAKE_INSTALL_PREFIX=~/
local/root/6.26.10
長い出力 自動設定中
うまくいけば最後に
-- Configuring done
 Generating done
 Build files have been
written to: /あなたの環境/build
と表示される
>cmake --build build -j4
 `結構待つ. 100%の表示でOK
>cmake --install build
```

#### エラー対応

- ビルドは大体失敗します.
- エラーメッセージを読んで対応することが重要です。
- まずはエラーを丸ごとコピペして検索しましょう
  - この場合だと例えば,
    - "Error in <CheckModuleValid>: Couldn't find module with name 'NetxNG' in modulemap!"とかです
  - ROOT Forumのページがヒットして, cmake に -Druntime\_cxx\_module=Onのオプションを足せばよいという解決策が見つかります.
- わからなければ関連しそうな部分をまとめて Slackに貼って質問してください.
  - 自分が今までにやったこともまとめて教えて もらえると助かります。

```
Error: Building module 'Net' implicitly. If
'Net' requires a
dictionary please specify build dependency:
'G MultiProc.cxx' depends on 'Net'.
Otherwise, specify '-mByproduct Net' to disable
this diagnostic.
3649 //Test found_stdstringview Scanning dependencies of target G__ROOTTPython
Consolidate compiler generated dependencies of
target G ROOTTPython
Scanning dependencies of target G XMLIO
Consolidate compiler generated dependencies of
[77%] Building CXX object bindings/tpython/
CMakeFiles/G ROOTTPython.dir/
G ROOTTPython.cxx.o
 77%] Building CXX object io/xml/CMakeFiles/
 XMLIO.dir/G XMLIO.cxx.o
 77%] Built target G ROOTTPython
 77%] Generating G RootAuth.cxx, ../../lib/
RootAuth.pcm
 77%] Built target G XMLIO
 77%] Generating G \overline{Ne}txNG.cxx, ../../lib/
make[2]: *** [core/multiproc/G MultiProc.cxx]
make[1]: *** [core/multiproc/CMakeFiles/
G MultiProc.dir/all] Error 2
make[1]: *** Waiting for unfinished jobs....
Scanning dependencies of target G SQLIO
Consolidate compiler generated dependencies of
target G SQLIO
 [77%] Building CXX object io/sql/CMakeFiles/
G SQLIO.dir/G SQLIO.cxx.o
Scanning dependencies of target G__RootAuth
 77%] Building CXX object net/auth/CMakeFiles/
G RootAuth.dir/G RootAuth.cxx.o
Error in <CheckModuleValid>: Couldn't find
module with name 'NetxNG' in modulemap!
make[2]: *** [net/netxng/G__NetxNG.cxx] Error 1
make[1]: *** [net/netxng/CMakeFiles/
G NetxNG.dir/all] Error 2
 77%] Built target G SQLIO
 77%] Built target G RootAuth
make: *** [all] Error 2
```

## ROOT Install その5 (Mac)

- インストールを確認
  - 先に指定したディレクトリにcdで移動
  - Isすると色々入っているのが見えるはず
- bin/thisroot.shがROOTの設定ファイル
- 'source thisroot.sh'で諸々設定される
- 'root'でrootが起動すれば成功

```
ターミナルで作業
>cd ~/local/root/6.26.10
LICENSE
 tutorials/
 aclocal/
 cmake/
 emacs/
 fonts/
 icons/
 lib/
README/
 bin/
 config/
 etc/
 geom/
 include/
 macros/
 test/
>cd bin
>1s
genreflex*
 proofserv*
 rootdrawtree*
 thisroot.csh
 root.exe*
 rootn.exe*
 roots.exe*
hadd*
 rootslimtree*
 thisroot.fish
 proofserv.exe*
 rootbrowse*
 rooteventselector*
 rootnb.exe*
 rmkdepend*
 rootcint*
 rootls*
 thisroot.sh
hist2workspace*
 rootprint*
 setenvwrap.csh*
 rootcling*
memprobe*
 root*
 rootmkdir*
 rootrm*
 setxrd.csh
 xpdtest*
 rootcp*
prepareHistFactory* root-config*
 rootmv*
 roots*
 setxrd.sh
>source thisroot.sh
>root
```

10

## ROOT Install その6 (Mac)

- 毎回'source thisroot.sh'するのは面倒だ
- ターミナルを開いた時に自動で読み込まれるように設定する
- この設定ファイルは'.bashrc'という名前でホームディレクトリ(cdとだけ打った時に移動する場所)に作る
- あなたの好きなエディタで以下を.bashrcに追記する

```
1 # .bashrc - ROOT Setting
2 export ROOTSYS=~/local/root/6.26.10
3 cd $ROOTSYS/bin
4 source thisroot.sh
5 cd
```

注: (特にMacの人)

使っているshellの種類によっては, .bashrcではない コマンドラインで,

>echo \$SHELL

と打って/なんとか/bash となる場合は .bashrc に記述 /なんとか/zsh となる場合は .zshrc に記述

```
または,エディタを<u>使わず</u>ターミナルで作業する場合
> echo '# .bashrc - ROOT Setting' >> ~/.bashrc
> echo 'export ROOTSYS=~/local/root/6.26.10' >> ~/.bashrc
> echo 'cd $ROOTSYS/bin' >> ~/.bashrc
> echo 'source thisroot.sh' >> ~/.bashrc
> echo 'cd' >> ~/.bashrc
```

# ROOT Tutorialの追加インストール (必要な人)

'brew install root' などでROOTをインストールして,
 Tutorialがない場合は以下のコマンドで取得する

```
> git clone --branch latest-stable --depth=1 https://github.com/root-project/root.git root_src
> cd root_src/tutorial
ここにあるほず.
```

12